

金沢美術工芸大学委託生に関する規程

平成 22 年 4 月 1 日

規程第 41 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、金沢美術工芸大学学則（平成 22 年規程第 1 号。以下「学則」という。）第 54 条の規定に基づき、委託生に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 委託生とは、本学学生以外の者で、国、地方公共団体又は公的教育機関若しくは研究機関からの委託により、学則第 2 条第 2 項に定める専攻の教育を受ける者をいう。

(収容人員)

第 3 条 委託生の収容人員は、若干人とする。

(在学期間)

第 4 条 委託生の在学期間は、1 年とする。ただし、引き続いて在学を願い出た者に対して学長は、教授会の議を経て、在学期間を延長することができる。

(入学の時期)

第 5 条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学の資格)

第 6 条 委託生として入学することのできる者は、学則第 19 条に定める者とする。

(出願の手続)

第 7 条 委託生として入学を志願する者は、次の各号に定める書類等を提出しなければならない。

- (1) 公の機関又は団体等の長からの教育委託依頼書及び本人に属する調査表
- (2) 履歴書及び写真 1 枚
- (3) 最終出身学校の卒業証明書及び学業成績証明書。現に学校に在学している者にあつては、在学証明書及び学業成績証明書
- (4) 住民票の写し

(入学の許可)

第 8 条 委託生の入学は、委託生が入学を希望する専攻及び教務委員会において審査し、教授会の議を経て、学長が許可する。

2 前項の審査は、提出された書類及び面接並びに提出論文又は作品により行う。

(修了証書等の交付)

第 9 条 委託生が所定の課程を修了した場合には、学長は修了証書を交付する。なお、履修した科目につき本人の願い出があるときは、大学が定める適切な方法により学修の成果を評価し、成績単位取得証明書を交付する。

(授業料等)

第 10 条 委託生の入学金及び授業料については、公立大学法人金沢美術工芸大学授業料等徴収に関する規程（平成 22 年規程第 56 号）の定めるところによる。なお、在学期間の 1 年延長が認められた場合も同様とする。

(学則の準用)

第 11 条 この規程に定めるもののほか、委託生に関する取扱いについては、学則の規定を準用する。

附 則

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。